



回答率：学校づくり協議会員100%、保護者95.1%、児童93.8%、教職員100%

学校教育目標

1	教育方針・目標の理解	2	意欲的な学校生活	3	教師の連携協力
学校は、児童や保護者に学校の教育方針や教育目標を分かりやすく示していると思いますか。		子供たちは、充実した学校生活を送っていると思いますか。		全職員で、連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。	
考察 【1】 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の肯定的な回答が、教職員100%、児童92%、保護者94%、学校評議員100%で一定の成果は得られたが、更なる浸透を図る上で、これまで取り組んできたPTA総会での校長講話、学校便り、学校ホームページによる啓発の他、学校教育目標をもとに設定した学級目標の振り返りを児童に随時行わせたり、その様子を学級便りに掲載したり、学級懇談会で話題にしたりしたい。また、地域の会議にも足を運び、学校を核とし、地域と連携・協働を行っていききたい。 【2】 肯定的な回答が、教職員100%、児童96%、保護者99%、学校評議員100%で高かった。今後も【子供の思い】【教師の願い】【教材】のバランスをとりながら「分かる・できる」喜びを味わわせる指導の工夫や「認め・誉め・励まし・伸ばす」指導の継続を図っていききたい。 【3】 肯定的な回答率が、教職員96%、保護者96%、学校評議員100%で高かった。今後も学校教育目標の具現化や様々な課題に対し、「チーム学校」として組織的に取り組んでいきたい。					

教科指導について

4	授業づくりの工夫	5	意欲的な学習態度	考察 【4】 肯定的な回答が、教職員100%、児童97%、保護者98%、学校評議員100%と高かった。特に保護者評価が昨年度より10ポイント向上した。教師の丁寧な指導と子供の姿からの評価であろう。今後も少しでも分かりやすい、質の高い授業づくりに努めていく。 【5】 肯定的な回答が、教職員100%、児童92%、保護者92%、学校評議員100%でいずれも、昨年度よりポイントが上がっている。教師の授業改革で知的好奇心・向上心を高める授業づくりができてきた賜物である。今後も教師の仕掛けを常に考え、授業改革を推進していく。
学校は、わかる授業、丁寧な授業づくりに努めていると思いますか。		子供たちは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。		

道徳教育 心の教育について

6	道徳、心の教育の充実	7	あいさつ、礼儀の励行	考察 【6】 肯定的な回答が、教職員89%、児童87%、保護者93%、学校評議員100%であった。教職員が昨年度より7ポイント下がった。今一度楽しい学校づくり(いじめの根絶)のために、今後、特別の教科「道徳」の指導の充実、家庭(日常的な会話等)・地域(体験的活動の充実等)と連携を通して推進したい。 【7】 肯定的な回答が、児童94%に対し、職員74%・保護者85%(学校評議員100%)と差が見られた(「そう思う」の回答では顕著)ことから、よりよい挨拶や礼儀作法を大人が示す(率先垂範)中で教えていく必要性を感じる。家庭・地域での挨拶も励行していく。
学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にすることの心の教育の充実に努めていると思いますか。		子供たちは、挨拶がきちんとできていると思いますか。		

人権教育について

8	一人一人の児童の尊重	9	友達への思いやり
学校は、一人一人の子供を大切にしたい指導や対応ができていると思いますか。		子供たちは、友達と仲良くしていると思いますか。	
考察 【8】 肯定的な回答が、教職員100%、児童97%、保護者92%、学校評議員100%であった。年間を通して、全職員による児童理解の深化及び丁寧で一人一人に応じた指導を心がけた結果が現れてきた。児童や保護者の相談体制の推進や関係機関との連携もさらに図っていききたい。 【9】 肯定的な回答が、教職員100%、児童97%、保護者92%、学校評議員100%で高かったが、「あなたは友達と仲良くしていますか」の問いに児童の1%、保護者の3%が否定的な回答をしていたことを重く受け止め、今後一層の人権同和教育の推進を図り、思いやりや協調性、自己肯定感、自己有用感等を育成したい。また、障がいやジェンダーフリー等、みんなが生活しやすい環境の推進を図りたい。			

学校行事について

10	学校行事等の工夫
学校は、学校行事(運動会など)が工夫されていると思いますか。	
考察 【10】 肯定的な回答が、教職員100%、児童95%、保護者98%、学校評議員100%で高かったが、児童・保護者に否定的な数値もあったことから、今後、行事の精選や統合、廃止等を図る中で、本校の魅力(児童の頑張りを表出させる場面の提示など)を発信していきたい。	

生徒指導 教育相談について

<p>11 児童理解</p> <p>学校は、子どものよさを見つけ、子どものことを理解しようとしていると思いますか。</p>	<p>12 規範意識</p> <p>子供たちは、規則やマナーを守っていると思いますか。</p>	<p>13 いじめや問題への対応</p> <p>学校は、いじめや問題があったとき、すぐに対応していると思いますか。</p>
<p>考察</p> <p>【11】肯定的な回答が、教職員100%、児童95%、保護者95%、学校評議員100%で高かったが、否定的な回答が児童に2%、保護者に5%あったことから、今後一層児童理解に努め、児童の良さを発見し、「認め・ほめ・励まし・伸ばす」指導を全職員で実践したい。</p> <p>【12】肯定的な回答が、教職員96%、児童92%、保護者92%、学校評議員100%で高かった。数値は高いが、規範意識の高揚やマナーの低下が見られている。道徳の学習とからめながら指導を行ってきたい。</p> <p>【13】肯定的な回答が、教職員100%、児童96%、学校評議員100%と高かったが、保護者は86%にとどまったことから、昨年以上に行ってきたいじめの未然防止や早期発見(年4回のアンケート調査や日常的な児童観察)、早期対応(児童との個人面談や教育相談の実施)、チーム対応(関係機関等と連携)などを保護者に情報発信しながら推進・徹底していく。また、保護者との相談体制の整備も強化していきたい。</p>		

健康教育 安全について

<p>14 安全と事故防止</p> <p>学校は、子供の安全と事故防止に努めていると思いますか。</p>	<p>15 体力向上</p> <p>子供たちは、すすんでスポーツなどを行っていると思いますか。</p>	<p>考察</p> <p>【14】全体的に肯定的な回答が多かったが、児童及び保護者の2～3%が事故防止に努めていないと回答したことを重要視し、児童が安全に対して主体的に取り組む態度を育成するとともに、保護者や地域の方々と連携した見守り活動等も促進したい。</p> <p>【15】児童13%、保護者23%が否定的な回答であったことから、新しい生活様式の中でも児童が夢中になって取り組む体育学習の充実や外遊びの奨励、始業前のランニング、児童会主催の各種スポーツ大会等を通じた体力向上を図ってきたい。</p>
---	--	---

学校環境について

<p>16 環境の整理・美化</p> <p>学校は、校舎内外(花壇や掲示物など)がきちんと整理されていると思いますか。</p>	<p>17 施設・設備の安全管理</p> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p>	<p>考察</p> <p>【16】肯定的な回答が、教職員100%、児童97%、保護者100%、学校評議員100%でとても高かった。今年度は児童が主体的に取り組む姿も多く見られた。無言清掃のや花壇の整備、校内掲示物の整理等も良くなってきた。今後も学校美化に学校総体で取り組んでいきたい。</p> <p>【17】肯定的な回答が、教職員100%、児童97%、保護者100%、学校評議員100%でとても高かった。今後も毎月全職員で実施している校内安全点検の徹底や日常的な危険箇所の確認(ヒヤリ・ハット報告)等に努めたい。また、「前仕末(未然防止)」の大切さを職員全員で共通理解を図ってきたい。</p>
--	---	--

情報の公開・発信について

<p>18 学校の予定等がわかる情報発信</p> <p>学校の情報は、文書(学校便り等)やホームページ等で、十分に発信されていると思いますか。</p>	<p>19 教育活動への参加</p> <p>学校が公開している教育活動(行事等)は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。(分かる範囲で記入ください)</p>
<p>考察</p> <p>【18】肯定的な回答が、教職員100%、保護者94%、学校評議員100%で一定の成果は得られた。今後も学校ホームページで1年間分の行事等予定や児童の様子等を随時掲載したり、各種便り(学校・学級・保健・給食など)で様々な情報を発信したりしたい。</p> <p>【19】肯定的な回答が、教職員96%、保護者92%、学校評議員100%で一定の成果は得られた。特に保護者からの評価は、5ポイント上がった。今後もPTA本部役員と連携し、児童の活動を中心に考えるとともに、なるべく多くの方のニーズに対応した行事等を企画・運営していきたい。</p>	

家庭・地域の連携について

<p>20 家庭や地域との連携協力</p> <p>学校は、家庭や地域と連携協力しながら教育活動を進めていると思いますか。</p>
<p>考察</p> <p>【20】肯定的な回答が、教職員96%、保護者91%、学校評議員100%で一定の成果は得られた。「コロナ禍だからこそ」といった思いで、連携強力できた。今後も教職員一人一人が課題意識を持って、「地域(家庭)とともにある学校づくり」に取り組んでいきたい。</p>

業務改善・働き方改革

<p>21 業務改善・働き方改革</p>	<p>考察</p> <p>【21】肯定的な回答が、89%と決して高いとは言えない。今後、更なる意識改革を図りながら、仕事量、負担軽減について、教職員と協力・改善しながら業務を進めていく。特にOJTや校務分掌の精選、超過勤務時間の短縮は、急務である。また、働きやすい環境づくりとして、教職員がきちんとものが言える雰囲気づくりにも努めていく。</p>
-----------------------------	---

来年度の具体的な取組について(今年度否定的な回答が多かった事項を中心に)

- 【教育方針・目標の理解】 学校教育目標の周知徹底とその具現化に向けた家庭や地域との連携・協働
- 【道徳教育、心の教育の充実】 全教育活動での「思いやり、ありがとう、おかげさま」等の心の育成及び家庭との連携
- 【挨拶・礼儀の励行】 あいさつ・聞き方・そろえ方(八代スピリッツ)の再度の徹底
- 【規範意識】 実社会においても通用する規範意識の育成
- 【いじめや問題行動の対応】 けんかやふざけ合いであっても背景をしっかりと見極め、組織的に対応する職員集団の育成
- 【体力向上】 誰もが「面白そう」「できそう」と思える学習の展開や魅力ある遊び、運動の奨励